

■豪州：ニューサウスウェールズ州の発電公社の売却先候補に神華集団も

2013年11月7日付の現地報道は、ニューサウスウェールズ（NSW）州政府が売却を進める発電公社のマッコリー・ジェネレーション（MG）の売却先候補リストとして、中国の大手石炭会社の神華集団が残っていると報じた。この他に、売却先候補リストにはAGL エナジーとクイーンズランド州のERM パワーが残っている模様。入札は、2014年1月28日に締め切られる。MGは、NSW州のハンターバレーにベイウォーター発電所（1985年運開：66万kW×4基）とリドル発電所（1971年運開：50万kW×4基）の2つの石炭火力を保有しており、NSW州への電力供給量の約3割を担っている。